

アルファテック388 (S/W)

アルファテック388はコンクリート構造物のひび割れに塗布して充填する無溶剤型のエポキシ樹脂接着剤です。ひび割れに沿って刷毛やローラー等で塗布することにより、上向きでも0.05mmから0.5mm程度まで、横向きでは0.05mmから0.8mm程度までのひび割れに毛細管現象で浸透し接着します。



主な特徴

- **浸透性** 0.05mmのマイクロクラックに対しても優れた浸透性能を示します。
- **接着性** 乾燥面はもとより湿潤したコンクリート、鋼材等に優れた接着性能を示します。
- **耐久性** 高い接着・引張・曲げ強度を示し、耐久性に優れます。
- **低収縮性** 揮発物を含みませんので硬化収縮がほとんどありません。

登録

- ・NETIS登録番号CB-130007-VE
- ・試験法-412(NEXCO試験方法 繊維シート用接着剤の湿潤接着強さ試験方法)適合品
- ・試験法-426(NEXCO試験方法 ひび割れ含浸材料の試験方法)適合品
- ・JIS A 6024(注入エポキシ樹脂 硬質型 低粘度型 一般用)適合品
- ・JWWA K 143(水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗料塗布方法)
- ・JWWA Z 108(水道用資機材-浸出試験方法)

主な用途

- コンクリート構造物のマイクロクラック(0.05mm)～0.8mm程度までのひび割れの浸透接着。
- コンクリート保護材、防水工の下地処理。
- セメントモルタルやレジンモルタルのタックコート。

使用方法

- ①ひび割れの状態・幅・長さを確認し、マーキングをして下さい。
- ②ダスター刷毛、エアスプレーなどでひび割れを清掃して下さい。(降雨時及びひび割れ内に滞留水がある時は施工ができません。)
- ③主剤・硬化剤を計量し、十分に攪拌し混合して下さい。
- ④ひび割れ浸透を目視確認しながら、ローラー、刷毛などを用い塗布→液寄せ→再塗布を可使時間内に繰り返して下さい。

*一度に混合する量は可使時間内に使い切れる量として下さい。

*使用量はmあたり20～50gが目安となります。

面で塗布する場合は㎡あたり200～250gが目安となります。

【施工時の温度目安:S(夏用)15℃以上、W(冬用)5℃～20℃】

テクニカルデータ

未硬化物の性状(23℃)				
	アルファテック388S(夏用)		アルファテック388W(冬用)	
	主剤	硬化剤	主剤	硬化剤
主成分	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	変性エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	淡黄色	青色	淡黄色	青色
外観(混合)	淡青色		淡青色	
混合比(重量)	100	43	100	43
混合比(容量)	2	1	2	1
粘度(混合)	500±100mPa·s		450±100mPa·s	
比重	1.12±0.05		1.12±0.05	
可使時間(300gスケール)	50分		30分	

テクニカルデータ

1. JIS A 6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)品質規格に基づく試験

NEXCO 構造物施工管理要領表3-2-1 ひびわれ注入工法用エポキシ樹脂系ひびわれ注入材の品質規格1種に基づく試験
 国土交通省土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品 註)MF:セメントモルタル破壊

試験項目		品名	アルファテック388S	アルファテック388W	JIS規格値	NEXCO・国交省規格値
粘性	粘度 (mPa・s)	23±0.5℃	520	460	100~1000	1000 以下
接着強さ (MPa)	特殊条件	標準条件	8.7 MF	8.5 MF	6.0 以上	6 以上
		低温時	-	6.0 MF	3.0 以上	-
		湿潤時	4.5 MF	4.5 MF	3.0 以上	3 以上
		乾湿繰り返し時	4.0 MF	4.0 MF	3.0 以上	-
硬化収縮率 (%)	標準条件 (7日間)	1.3	1.5	3.0 以下	3.0 以下	
加熱変化	質量変化率 (%)	110℃×7日間	3.8	3.9	5 以下	-
	体積変化率 (%)	110℃×7日間	3.4	3.9	5 以下	-
引張強さ (MPa)	標準条件 (28日間)※	15	20	15.0 以上	-	
引張破壊伸び (%)	標準条件 (28日間)※	9.5	4	10.0 以下	-	
未硬化の注入材	可使時間 (分)	50	30	-	30以上	
硬化した注入材	接着力耐久性保持率 (%)	63	63	-	60以上	

※アルファテック388は、0.8mm以下の微細なひび割れ部分に塗布のみで浸透し、かつ湿潤面への接着も可能とする接着剤です。
 このアルファテック388をひび割れ部分により多く含浸させるため、初期硬化を抑え、浸透時間を長く保持できるよう配合しております。
 この特性により、28日の硬化養生時まで最大強度が上昇します。

2. NEXCO 構造物施工管理要領表3-5-2 プライマーひびわれ含浸性能適合品 註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック388S	アルファテック388W	規格値
ひび割れ接着強度	N/mm ²	試験法-426	23℃×7日	2.9 CF	2.9 CF	2.0N/mm ²

3. NEXCO 構造物施工管理要領(平成18年10月版)表3-11-5 付着力に関する品質規格適合品 註)CF:コンクリート破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック388S	アルファテック388W	規格値
付着強度	N/mm ²	試験法-412	23℃×7日	2.0 CF	2.0 CF	1.5N/mm ²

4. 硬化樹脂の性状 註)COF:接着剤破壊

試験項目	単位	試験方法	養生条件	アルファテック388S	アルファテック388W
圧縮強さ	N/mm ²	JIS A 6024	23℃×7日	20	60
			23℃×14日	30	-
			23℃×28日	40	-
曲げ強さ	N/mm ²	JIS K 7171	23℃×7日	7	40
			23℃×14日	20	-
			23℃×28日	22	-
引張強さ	N/mm ²	JIS K 7161	23℃×7日	10	25
			23℃×14日	13	-
			23℃×28日	15	-
引張せん断接着強さ (鋼材相互)	N/mm ²	JIS K 6850	23℃×7日	15 COF	15 COF

※本記載の物性は当社研究室で採取した代表試験結果であり保証値ではありません。

容器形態

【10kg / 9L セット】

主 剤 7kg (角缶)
 硬化剤 3kg (角缶)

【1kg / 0.9L セット】

主 剤 0.7kg (アルミパック)
 硬化剤 0.3kg (アルミパック)

※製品改良のため予告なく記載事項を変更することがあります。

注意事項

- ・直接皮膚に接触するとかぶれを生じることがありますので、取り扱いに注意して下さい。
- ・取り扱いには保護具(保護メガネ、ゴム手袋、マスク等)を着用し、換気を充分に行ってください。
- ・樹脂が皮膚に付着した場合は速やかに拭き取り、石鹸水等でよく洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は多量の水で洗浄し、医師の診察を受けて下さい。
- ・使用にあたってはSDSをお読みください。

アルファ工業株式会社
ALPHA KOGYO K.K.

横浜 本社 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-51 TEL:045-500-0500 FAX:045-500-0550
 URL: <https://alpha-kogyo.com> / E-mail: alpha-kogyo@alpha-kogyo.co.jp
 1-1-51 SUEHIRO-CHO, TSURUMI-KU, YOKOHAMA-SHI, 230-0045 JAPAN
 神戸 事業所 〒652-0882 神戸市兵庫区芦原通6-3-3 TEL:078-681-7051 FAX:078-671-2282
 6-3-3 ASHIMARADORI, HYOGO-KU, KOBE-SHI, 652-0882 JAPAN